

バンクーバーで市出身選手が活躍



冬季五輪日本代表の高橋・小林・湊・鈴木4選手

第21回オリンピック冬季競技大会が2月12日から28日まで開かれ、北秋田市出身の4選手が世界の強豪を相手に健闘しました。ノルディック複合競技では高橋大斗選手(29)⇨土屋ホーム・鷹農高・北海道東海大出、小林範仁選手(27)⇨東京美装・花輪高・日大出、湊祐介選手(24)⇨東京美装・鷹農高・日大出。バイアスロン競技では鈴木芙由子選手(21)⇨自衛隊冬戦教・米内沢高出、の4人が各種目で熱戦を展開し、市民を湧かせてくれました(記事は2月25日現在)。



▲ノルディック複合団体クロスカントリーで力走する高橋大斗選手

■日本チームをけん引したノルディック複合3選手

バンクーバーオリンピックでは、ノルディック複合競技ノーマルヒル個人が日本時間2月15日、団体戦が24日、ラージヒル個人が26日に行われました。このうち、ノーマルヒル個人では小林選手が7位入賞、高橋選手が27位と健闘しました。団体戦では、湊選手がはずれたものの、高橋選手が前半ジャンプで136・50点と大ジャンプを見せ、小林選手も得意のクロスカントリーアンカーとして先行する選手を追いメダル獲得はならなかったものの2人の活躍で見事6位入賞を果たしました。

26日のラージヒル個人では、高橋選手がはずれ、湊選手が出場の予定です。昨年2月の世界選手権で金メダルを取ったメンバーが最後の種目に臨みます。



▶カナダ・ウィスラーのノルディック複合競技ジャンプ会場で北秋田市旗を掲げる小林範仁(左)、高橋大斗(中央)、湊祐介(右)の3選手。写真(前頁も)は小林選手の父・博さん撮影。※一枚に合成しています。



▶鈴木さんの母校米内沢高校の生徒が2月9日、鈴木さんの父・博さんに、応援メッセージを書き込んだ手作りの応援旗を贈呈。鈴木さんは、この旗をバイアスロン競技の会場に掲げて我が子、芙由子さんを応援しました。

■子どもたちのメッセージを掲げて

阿仁地区では、地元3選手に声援を送ろうと応援会を開催。会場となった阿仁庁舎には、3選手の応援のぼり旗、阿仁合小・大阿仁小・阿仁中の児童・生徒のメッセージを書き込んだ応援旗を飾り、日の丸を振って応援しました。

15日のノーマルヒル個人では、小林選手がトップから58秒遅れでスタートしたものの、一時トップに躍り出ました。このとき、応援会場では大きな拍手とともに「範仁がんばれー」、「そのまま行けー」などと大声援が響きわたり、盛り上がりも最高潮に達しました。24日の団体戦でも大勢の市民が応援に駆けつけ、高橋選手のビッグジャンプ、小林選手のクロスカントリーでの追い上げに大きな拍手を送りました。

■後輩たちも母校で応援

高橋大斗、湊祐介両選手の母校・鷹巣農林高校では、スキー部や野球部など運動部の選手を中心に生徒教職員約60人がスクリーンの日本チームに向かって応援しました。生徒たちは、高橋選手や小林選手が映ると、応援団のコールに合わせ日の丸の小旗を振って大声援。ゴール後も入賞した日本チームに激励の拍手を送っていました。

スキー部のコンバインド(複合)選手・高山大史君(2年)は、「先輩たちが世界の舞台で戦っているのはすごいこと。自分たちにも大きな励みになった。高橋先輩の大ジャンプ、高橋選手が活躍したバイアスロンは、スキー距離とライフル射撃を組み合わせさせた競技で日本では競技人口が少なく、日本から女子の出場は鈴木選手1人でした。14日に行われた女子7.5kmスプリントでは出場89人中44位と健闘し、60位内の選手が出場できる10kmパシュート(追い抜き)に出場することになりました。鈴木選手はの得意は射撃。17日のパシュートでも、多くの選手が3発4発と外す中、得意とするライフル射撃の腕前を見せ54位でゴールしました。鈴木選手は19日の個人15km競技にも出場し、53位となりました。

■ふるさとかから大声援

ノルディック複合代表3選手の地元阿仁、高橋・湊選手の母校鷹巣農林高校、そして、鈴木選手の地元合川では各競技の放送時間に合わせ競技の模様を大型スクリーンで観戦する応援会が開かれ、バンクーバーに向けて大声援が送られました。

高橋・小林両選手の力走に感激した。先輩達に少しでも近づきたい」と話していました。

■合川地区では集落をあげて

鈴木選手の地元合川地区では、合川地区体育協会(佐藤征太郎会長)と鈴木選手の地元鎌沢自治会で組織する、芙由子応援団(団長⇨加藤隆悦鎌沢自治会長)が主催し合川農村環境改善センターで行われました。19日の個人15km競技観戦後、主催者の佐藤会長が「鈴木選手は健闘したが、世界の壁はご覧の通り厚かったです。しかし本人はまだ若い。これからも応援を」と、今後の活躍を願いました。

応援団長の加藤鎌沢自治会長は「オリンピックでの鈴木選手の活躍は地元の誇り。これからも、オリンピックに出場した経験を生かして活躍してほしい」と、鈴木選手の活躍を称えました。

また、鈴木選手を小さい頃から知っている隣の福田芳一さんは「初めてにしてはよくがんばったと思う。射撃は得意なので、あとは走力がつくと世界に通用する選手になると思う。子どもたちにも夢を与えてくれた」と、目を細めていました。